


報道機関各位

令和7年（2025年）12月19日（金）10時00分配付

項目	北見地区米麦改良協会からの鏡餅贈呈について
配付資料	令和7年度オホーツク管内の水稻生産状況等について
内容及び報道に当たってのお願い	<p>○ オホーツク管内の農林水産業と地域経済の発展を祈願するとともに、管内産もち米の認知度向上を図るため、北見地区米麦改良協会からオホーツク総合振興局に対して、鏡餅の贈呈が行われますのでお知らせします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時 令和7年（2025年）12月25日（木）11時00分</p> <p>2 場所 オホーツク合同庁舎 2階2号会議室</p> <p>3 出席者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・贈呈者：北見地区米麦改良協会会長 佐野 成昭（津別町農業協同組合代表理事組合長） ・同行者：北見地区米麦改良協会事務局長 古川 貴朗（ホクレン支所長）他 ・対応者：北海道オホーツク総合振興局長 野村 博明 <p>4 鏡餅概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大きさ：重量約40キロ 直径約50センチ ・原料：令和7年産「きたゆきもち」（オホーツク管内3農協（JAきたみらい、JAびほろ、JAめまんべつ）産を使用） ・三方：オホーツク管内森林組合振興会 提供 ミズナラを使用 ・飾り昆布：雄武漁業協同組合 提供 利尻昆布を使用 <p>5 鏡餅の展示（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示期間：令和7年（2025年）12月25日（木）～令和8年（2026年）1月8日（木） ・展示場所：オホーツク合同庁舎 1階ロビー
他のクラブとの関係	
担当窓口	<p>北海道オホーツク総合振興局 産業振興部農務課長 塚田 康貴 連絡先：直通 0152-41-0660（内線 2700）</p> 

オホーツク管内の水稲生産状況等について

〔令和7年（2025年）12月
オホーツク総合振興局農務課〕

1 水稲生産状況

- 令和7年の作柄表示地帯「オホーツク・十勝」の水稲作付面積は 855ha と前年比3ha減、収穫量は 4,800トン（前年比110トン減）
- 令和7年の作況指数は「102」のやや良となった。（作況指数106以上で良）

年産	北海道			オホーツク・十勝		
	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作況指数	作付面積 (ha)	収穫量 (t)	作況指数
R3(2021)	96,100	573,700	108	951	5,490	113
R4(2022)	93,600	553,200	106	918	4,990	104
R5(2023)	93,300	540,200	104	892	5,110	109
R6(2024)	95,000	562,400	103	858	4,910	109
R7(2025)	90,400	578,000	98	855	4,800	102

資料：農林水産省北海道農政事務所調べ

（注）平成25年産（2013年産）から、作柄表示地帯が「オホーツク・十勝」地帯に変更されている。

参考

- 作況指数が100を下回った年は、平成元年以降で12回。そのうち著しく作況指数が低い年は5回（H5年（作況指数8）、H10年（作況指数49）、H14年（作況指数33）、H15年（作況指数19）、H21年（作況指数57））

2 品種（きたゆきもち）について

- 「きたゆきもち」は、平成21年に北海道の優良品種に認定されており、白度、食味、硬化性（柔らかさ）など品質面のみでなく、多収量（「はくちょうもち」の1割増）と生産性にも優れるとほか、耐冷性が極めて強いことが特徴。
- オホーツク管内では、かつては「はくちょうもち」が主に生産されていたが、耐冷性の高い「きたゆきもち」への置き換えが進められ、平成24年産以降、管内で作付されるもち米のほぼ100%が「きたゆきもち」となっている。
- 「きたゆきもち」への置き換えが進んだ平成24年産以降、オホーツク管内の作況は平成30年産を除いて、良またはやや良と豊作傾向が続いている。

3 鏡餅贈呈について

北見地区米麦改良協会からの鏡餅贈呈は平成6年（1993年）から実施されており、本年で31回目。（平成15年（2003年）は不作により中止）